

第3種郵便物認可

川崎市初の女性緊急支援団体として活動を続けるNPO法人「ウイメンズハウス・花みずき」が、設立20周年を迎えた。ドメスティックバイオレンス(DV)や居場所に悩む女性らに寄り添い、相談業務や住居提供などさまざまな支援を展開。副理事長の大塚加代子さん(70)は「今後も女性の再出発の手助けができれば」と思いを新たにしている。

(鈴木 崇宏)

NPOの設立は「女性一人一人の生活を大切に支援したい」との思いから、女性カウンセラー5人で相談室を開設したのがきっかけ。現在も電話相談のほか、DV被害者への住居の紹介などを手掛けている。

これまで年間約400、500件の住居を提供しており、20年間で1万人以上の「再出発」を後押ししてきた。プライバシーを守るような共同生活の利用形態を取らない住居の提供が特徴で、利用者からは「体の安静、気持ちの落ち着きができた」「ほかの利用者への気遣いが不要だった」との声が寄せられている。

## 川崎のNPO「花みずき」20年

# 女性の再出発 後押し

来月5日  
記念演奏会

## 思い新たに活動継続

今年には新型コロナウイルス感染症拡大に伴う失業や、外出自粛による家族問題の相談も増えつつあり、心身の不調に悩む若い人からの相談が多いという。

一方、「利用者の求めに全て応じられない」と大塚さん。担い手や運営費など余裕があるわけではなく、「花みずきがあっても良かった」との利用者の声を励みに、一人でも多くの女性を支援するべく、今後も活動を続けていく。

花みずきは12月5日、新百合トウェンティワンホール(同市麻生区)で「20周年記念コンサート」を開催する。同市出身で、神奈川県フィルハーモニー管弦楽団首席ソロンコンサートマスターのバイオリニスト・石田泰尚さんと、同団の首席チエロ奏者・門脇大樹さんが出演する。一般2千円。事前申込制。問い合わせは、スペースらいっく ☎044(900)7797。



電話相談に応じるスタッフ＝川崎市内(NPO法人ウイメンズハウス・花みずき提供)